

政治運動

政治運動は、所謂「通」の日本労働党の合同同盟は、組合同盟を全体的に
動搖せしめず、組合同盟は、此方向に於て、党の急入り母き得るを明瞭に示
し、合同方針に反対したが、益は、所謂七党合同は成り、組合同盟は、初
覚に於て、其の精神を生かすことを鮮明にして党文符を次した。本組合は、初
めより日労党獨白論を主張したるも、組合同盟の其の後の方針を支持した。然
るに半蔵に重なりして、日農大衆系は馬脚を現し、日本農民党亦爾より有
結果となりて、準備なき、必然性なき合同が、實に大衆指導を以て、その
ことを明示した。然る日本大衆党は此の大動搖後組合同盟其他の應援の下に
彼と同盟に組織を守護し得た。

東京市公選挙は一人半以上堀氏選出を以て失敗したが、東京市下管会
選挙は、日本大衆党としても三十五名を選出、我が組合は七名立候補、七名
当選して實に痛戦を極めた。

本五度大衆党は、一層政治部の確立を必要とする。

X

X

青年部は組合同盟の方針として、附兼青年前衛隊を解散して、労働青年同盟に
解消した。それは大きな誤りであつた。本五度は大衆議案中の「附七党の
後進」を通じて、組合青年部の確立を強固にする必要がある。

大衆部は、本五度大衆終了と同時に全般的に着手すべし、準備中である。

本五度に於ては、労働党の急進政策遂行に重要なるかも知れぬ。是に組合
の基礎を堅く、及余の希望を計り、以て之に備へた。と希望し、止まない。
労働青年同盟組合の第五回大会に於て、幾人か本五度の報告をなす。一層の
労働青年同盟の発展を望む。